

# shab◎n・shingo-kunのマニアな深いお話

## 第1回 introduction



今月からshab◎n・shingo-kunが綴るshab◎nの裏側マニアな話！  
メインはこだわりの音響関係の話に始まり、多岐に渡る気になる人には  
気になる話をネットの誌面で語り尽くします(^▽^)  
どうぞよろしくお願ひします！

まずはshingo-kunの自己紹介。

shab◎nのメンバーでライブでは基本ステージに立たないメンバー。

音響エンジニアとしてレコーディング、コンサートでshab◎nサウンドを支え、marikoさんと共に創り上げています。

実はもうかなり長い事コンサート等の音響エンジニアをプロとして経験して来ました。

あらゆるジャンルをサポートして来た経験はshab◎nサウンドにかなり貢献していると自負しています。あまり大っぴらに公開していませんが、音創りに限らずアレンジや作詞の一部も担当する事があります。あくまで一部です…。

このコラムではネットラジオで語れないshab◎nサウンドの秘密と拘り、そしてディープな機材の話などを語り尽くしていきたいと思ひます。

なぜ音響エンジニアとしてshab◎nのメンバーにまでなったのか！！？

shab◎nメンバーの事に限らずshingo-kunクンの人生には様々なタマタマと言う必然がありました。タマタマと言ってしまえばそれだけですが…多分ソコに至るキッカケが偶然をタマタマと装う必然に繋がったのでしよう。

大きなキッカケは、音響エンジニアとして地元で駆出しの頃に観た、あるアーティストのコンサート！

それはととてもデカイ音ながら何故か引込まれる魅力に満ちた、そのアーティストの意志を伝えてくれる音だと感じました。

エンジニアってスゲエ！！と感動し多分関われる事が絶対無いアーティストではなくその時のエンジニアに興味を持ちエンジニア本人とお話しをする機会を持つ事ができました。

アーティストとはレコーディングから関わっていると聴き、漠然とコンサートの場だけでなく作品を創るところから気持ちが通じ合う事が大事なんだ…と心に刻み込まれたまだ駆出したshingo-kunでした。

ココの大切なポイントは当時の東京のレコーディング環境は地方では創造不可能な別世界！高級な機材が当たり前揃い、地元岡山で普段聴く機材や音とは桁違いなクオリティーが当たりの時代。まだ知らない東京の常識に憧れと嫉妬が入り乱れたものでした。

とこんな具合にユルユルと続きます(^-^)

profile

8月21日生まれ 広島県三原市生まれ岡山在住 O型 音響エンジニア

ポップユニットshab◎n(シャボン)の世界でも稀なMCで喋るサウンドエンジニア

毎月10日更新！Radio CAMNET channel-H shab◎n・marikoの「shab◎n-ism Hour to World(シャボニズムアワー)」

shab◎n公式ブログ [jaja-shabon.jugem.jp/](http://jaja-shabon.jugem.jp/)

